

7月16、17日に八峰町で第5回東北ジオパークフォーラムが開催され、東北地方のジオパークと、ジオパークを目指す地域の関係者が一堂に集まりました。同フォーラムは関係者の意見交換や交流のために、毎年場所を変えて開催しています。

基調講演

1日目は、ファガスで秋田大学の林信太郎教授による基調講演「東北のジオパークを結びつける『マントルの熱い指』」八峰白神ジオパークと東北日本のジオストーリー」が行われました。約170人が参加し、盛況のうちに終わることができました。以下は講演の要点です。



林教授の講演

●東北ジオパークの中で共通点を見つけてつながること、

「ふるさと八峰応援基金」寄附状況

年 度	件 数	金 額
平成20年度	22件	928,000円
平成21年度	11件	870,000円
平成22年度	19件	965,000円
平成23年度	16件	700,000円
平成24年度	20件	1,262,000円
平成25年度	20件	2,675,000円
平成26年度	93件	2,812,000円
平成27年度	934件	12,406,800円
合 計	1,135件	22,618,800円

平成27年度

「ふるさと八峰応援基金」寄附の状況をお知らせします

八峰町を愛し、応援して下さる方々の思いを形にし、個性豊かな活力あるふるさとづくりに役立てるため、平成20年度にふるさと納税制度による「ふるさと八峰応援基金」を設置しました。

平成27年度は、930名の方々から総額12,406,800円のご寄附をいただきました。平成26年度から寄附金額に応じて町内の特産品をプレゼントする取り組みを始めたことに加え、昨年9月からふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」と連携し、手続きがスムーズになったため、平成26年度の約10倍の方からご寄附いただきました。今後、事業の実施など十分検討を行ったうえ活用していきます。

今後も引き続き、ふるさととの未来を寄附金として応援していただける「はっほうサポーター」を募集しています。町外にお住まいのご親戚やご友人などへ、ぜひ呼びかけてくださいますようお願いいたします。

ふるさと八峰の未来をぜひ応援してください。

「ふるさと八峰応援基金」の使いみち

- ふるさとの父・母・親戚へ
～笑顔があふれるやすらぎのまち～
- 海と山と人とが元気に
～豊かな自然と共生するまち～
- これがあらほの自慢
～地域の伝統や文化の継承にむけて～

差別化をして競争することの両方が必要。

●東北地方の東西方向に点在する山地は、マントルの熱いかたまりが指のように上昇して冷えて固まったために隆起、形成したという説があり、東北のジオパークはほとんどがその隆起に関係している。

●各ジオパークに共通するテーマの一つに例えば「防災」があり、日本海中部地震や東日本大震災の記憶を風化させない役割をジオパークが担っている。

分科会

首長セッション、実務者セッション、ガイドセッションの3つの分科会を開き、それぞれの立場で意見交換やグループワークを行いました。

ガイドセッションでは、テーマを「ジオを楽しむためのガイドの役割」とし、各地域のガイドが自らの経験をもとにアイデアを出し合いました。活発な議論が行われ、ガイドの工夫とし

八峰町に転入された方、転入を予定されている方に 助成金を用意しています！

- 〈交付対象者〉 八峰町に住居登録をしてから、1年以上八峰町に居住しているU・Iターン者（Uターン者の場合、5年以上町外で生活し、改めて住民登録する必要あり）
- 〈申請期間〉 住民登録の日から1年以上経過した後、1年以内《厳守》
（平成28年8月1日を基準日とした場合、平成26年7月31日以前に転入した人は住民登録から2年が経過しているため申請することができません）
- 〈返還規定〉 奨励金等の交付を受けた日から、5年以内に町外へ転出した場合は、奨励金等を全額又は一部返還していただきます。

定住奨励金

〈交付額〉 ①単身で転入した場合は 150,000円 ②家族で転入した場合は 300,000円

定住用住宅取得等助成金

- 〈対象物件〉 住民登録日の前後1年以内に購入・借用した物件
- 〈対象費用〉 定住用住宅として購入・借用した住宅の改修等に係る費用
※「八峰町住家リフォーム支援事業」との併用はできません。
※家電（テレビ、洗濯機等）の購入は補助対象外となります。ただし、配管工事等を伴う電気温水器、エアコン等については補助対象とします。
- 〈助成額〉 対象費用の1/2に相当する額、又は50万円のいずれか低い方の額（千円未満切捨）を助成

※助成金の交付を受けることができない場合もありますので、詳細は下記へお問合せください。

■問合せ先 八峰町企画財政課 ☎76-4603

エクスカージョン （体験型見学会）

八峰白神ジオパークの見どころを紹介しようと、3つのコースに分かれて、八峰町白神ガイドの説明とともに各地を巡りました。

日本海コース

ジオサイトである「白神のフィンクス」や「椿海岸の柱状節理」など八峰町の海岸沿いを中心に巡りました。参加者は、実際に柱状節理に近づいて、マグマが冷えて固まった様子を興味深く観察していました。

十二湖コース

凝灰岩で構成される日本キャニオンや、1704年に崩山が崩落して形成された十二湖の観察を行いました。日本キャニオンでは、凝灰岩が作り出した

壮大な景観に参加者は驚嘆していました。

白神山地コース

二ツ森登山をとおして、白神山地における急峻な地形・地滑り地形とブナの天然林との関係を紹介しました。霧の中の登山でしたが、ガイドが晴天時の白神山地の写真を見せるなど工夫を凝らし、参加者に楽しんでいただきました。



二ツ森山頂での記念撮影

八峰白神ジオパーク推進協議会
地域おこし協力隊 三輪 拓磨
〒018-2632
秋田県山本郡八峰町八森字三十釜一四四一
ぶなつこランド内
TEL 0185-771-3086